

平成 19 年 11 月 5 日

各 位

会 社 名 ミサワホーム中国株式会社
 代表者名 代表取締役社長 久 延 賢 次
 (コード番号 1728 J A S D A Q)
 問合せ先
 役職・氏名 取 締 役 後 藤 重 幸
 (TEL. 086-245-3204)

平成 20 年 3 月期中間業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 5 月 11 日に公表いたしました平成 20 年 3 月期(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)の中間業績予想を下記の通り修正いたします。

記

1. 平成 20 年 3 月期中間(連結・個別)業績予想の修正

①連結中間業績予想の修正(平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	14,400	120	80	35
今 回 修 正 予 想 (B)	13,467	127	128	64
増 減 額 (B-A)	△932	7	48	29
増 減 率 (%)	△6.5	6.2	60.9	84.0
(ご参考) 前期実績(平成 18 年 9 月期)	13,883	90	60	23

②個別中間業績予想の修正(平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	14,230	105	65	25
今 回 修 正 予 想 (B)	13,347	109	108	52
増 減 額 (B-A)	△882	4	43	27
増 減 率 (%)	△6.2	4.5	66.2	108.5
(ご参考) 前期実績(平成 18 年 9 月期)	13,744	70	37	10

③修正の理由

住宅業界におきましては、新設住宅着工戸数は弱含みで推移しており、依然厳しい状況が続いております。

当中間期における売上高は、第1四半期の受注の落ち込みが影響し、受注面では第2四半期に盛り返しはできたものの完工寄与に至らず、連結・個別共に期初の公表値を若干下回る見込みであります。なお、利益面においては、売上利益率の改善及び販管費等の削減による営業収支の改善、並びに有利子負債の圧縮に伴う支払利息の軽減による営業外収支の改善に努め、併せて販売報奨金等の営業外収入が増加したことから、営業利益、経常利益及び当期純利益は連結・個別共に期初公表値を上回る見込みであります。

2. 通期の業績予想について

通期の業績予想の見通し（連結・個別）につきましては現在精査中であり、確定次第お知らせいたします。

（注）上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上